



チームワークのよさが際立った 修学旅行

16日(木)、17日(金)の一泊二日で、6年生の修学旅行が行われました。

修学旅行に関しては、近隣のほとんどの小学校が、2日間のうち1日を鎌倉見学に充てています。そして、もう1日については、箱根、横浜、東京など、各校で違いが見られます。

なお、鎌倉見学は、20年ほど前からグループ別行動が主流になっています。また、宿泊は、旅館の大部屋ではなく、ホテルに2・3人が同室になります。(当然、枕投げなどはできません)

今年度の本校の日程は、【1日目】・鎌倉→横浜(宿泊・夕食中華街)→【2日目】午前・山下公園散策、カップヌードルミュージアム見学及び体験、午後・東京(国会議事堂見学)というコースでした。

修学旅行の事前学習では、鎌倉のグループ別行動のコース作りが重要になります。旅行雑誌や地図、インターネットなどの情報をもとに、自分たちで行きたいところを決めます。このとき、昼食をとる店を決めておくことも、コース作りに欠かせないものとなります。

このような準備をしても、例年、活動中に意見が分かれてバラバラになったり、昼食をとれなかったりする班が必ず見られます。



地図を見ながら相談

その点、今年の6年生は、どの班も銭洗弁財天を見学場所に入れたハードなコース設定にもかかわらず、仲よく最後までしっかりしたグループ行動ができて、大変立派でした。

もちろん、思い出に残るようなおいしいお昼を食べることもできました。(6年生にとって、レストランなどに入るのは結構勇気が要るようです。鎌倉駅前のファーストフード店は、お昼時、修学旅行の小・中学生でいっぱいになり、店の外の歩道に座って食べている子ども達もよく見られます。本校では、『せっかく鎌倉に行くのだから、ファーストフード店以外で食べよう』と指導しておきました。)

江ノ電に乗るとき、班長の男の子が、班員みんなに「トイレに行かなくても大丈夫?」と声をかけている姿を見かけました。また、レストランではみんな違って品を注文し、少しずつ分け合ってたべた、というグループもありました。

このように仲のよさを初めとして、6年生の素晴らしさをたくさん発見することができた修学旅行でした。

笑顔の先生を偉いと思える感性

修学旅行には、養護教諭の久保井先生も引率者に加わってもらいました。

誰もが歩き疲れた鎌倉見学が終わり、バスの駐車場に向かっているとき、一人の男の子が、「久保井先生は、疲れているのに笑顔でいて、偉いなあ。」とつぶやきました。私は思わず、「君こそ疲れているのに、笑顔の先生を偉いと思えるのは、すごいよ!」と褒めました。(子どもは教師のことをよく見ているのだな、気をつけなければ、と改めて思いました。)

このやりとりを聞いていた教務主任の佐山先生も急いで笑顔になりましたが、惜しいことに、こちらは男の子には気づいてもらえませんでした。

子どもは親や教師の「いう通り」 にはならないが「する通り」になる

昨年度2月号の本稿に、授業参観時における本校保護者のマナーのよさについて書かせていただきました。

ベストセラーになった『置かれた場所で咲きなさい』（渡辺和子著）の中に、次のようなものがありました。

文房具を万引きして捕まった子どもに、父親が言ったそうです。「馬鹿だなあ。このぐらいのものなら、いくらでもパパが会社から持って帰ってやったのに」

子どもは、親や教師のいう通りにはなりません、親や教師のする通りになります。ですから、子どもには、周囲によい手本がなければならないのです。「なって欲しい子どもの姿」を、親も教師も自ら示す努力をしなければならないということでしょう。

また、『伝え方が9割』（佐々木圭一著）という本には、

人はもともとコミュニティを大切にし、集団で行動する動物です。誰かがやるなら自分もやりたくなるのです。・・・

子どもが勉強してしまう魔法のコトバがあります。

「いっしょに勉強しよう」

です。これは「チームワーク化」を使ったお願いのしかたです。
・・・・・・・・・・・・・・・・

居間で子どもが勉強している間、自分は好きな本を読むようにしたら、子どもが隣で黙々と勉強するようになりました。

と書かれていました。

本校でがんばっている挨拶、靴揃え、読書・・・、どれも“親子でいっしょに”が、叱らないで成果を上げるキーワードになるようですね。

校外学習（高学年）の見直しについて

何人かの保護者から「子どもたちが楽しみにしていた東京方面への社会見学（5・6年生）が、無くなってしまったのですね。」という声が聞かれました。

見直した理由は、授業時数を確保し、教科や総合の時間における体験活動やふれあい活動を増やすことにより、全体としてより充実した教育活動にするためです。

5・6年生とも、オープンスクールで行うコンサートとは別に、本校卒業生（劇団四季でも活躍された奥田久美子さん）による音楽の出前授業を実施します。また、NIE推進事業（新聞記事を活用した授業）に参加し、社会への関心を高めます。

6年生は、町の史跡めぐりを実施し、地域の歴史や文化に触れる機会の充実を図ります。なお、どうしても見学させたい国会議事堂については、修学旅行のコースに組み入れました。

5年生は、総合や社会科の学習を深めるために、『わくわく探検』の方面を宇都宮市に変更しました。また、臨海自然教室の際に工場見学を実施します。

地域の方にも挨拶ができる六美D班

登校指導の保護者や指導員さんへの挨拶は、少しずつよくなっていますが、登下校中にお会いする地域の方などに挨拶している姿は、残念なことあまり見られません。

そんな中、六美D地区の子どもたちは、地域の方にもきちんと挨拶をすることができます。



地域の人とも挨拶

ぜひ、全児童が、笑顔で地域の方にも挨拶できるようになってほしいと思います。